

躍進

YAKUSHIN

No.
42



株式会社 加藤組 社内報「躍進」

発行日／平成19年8月11日

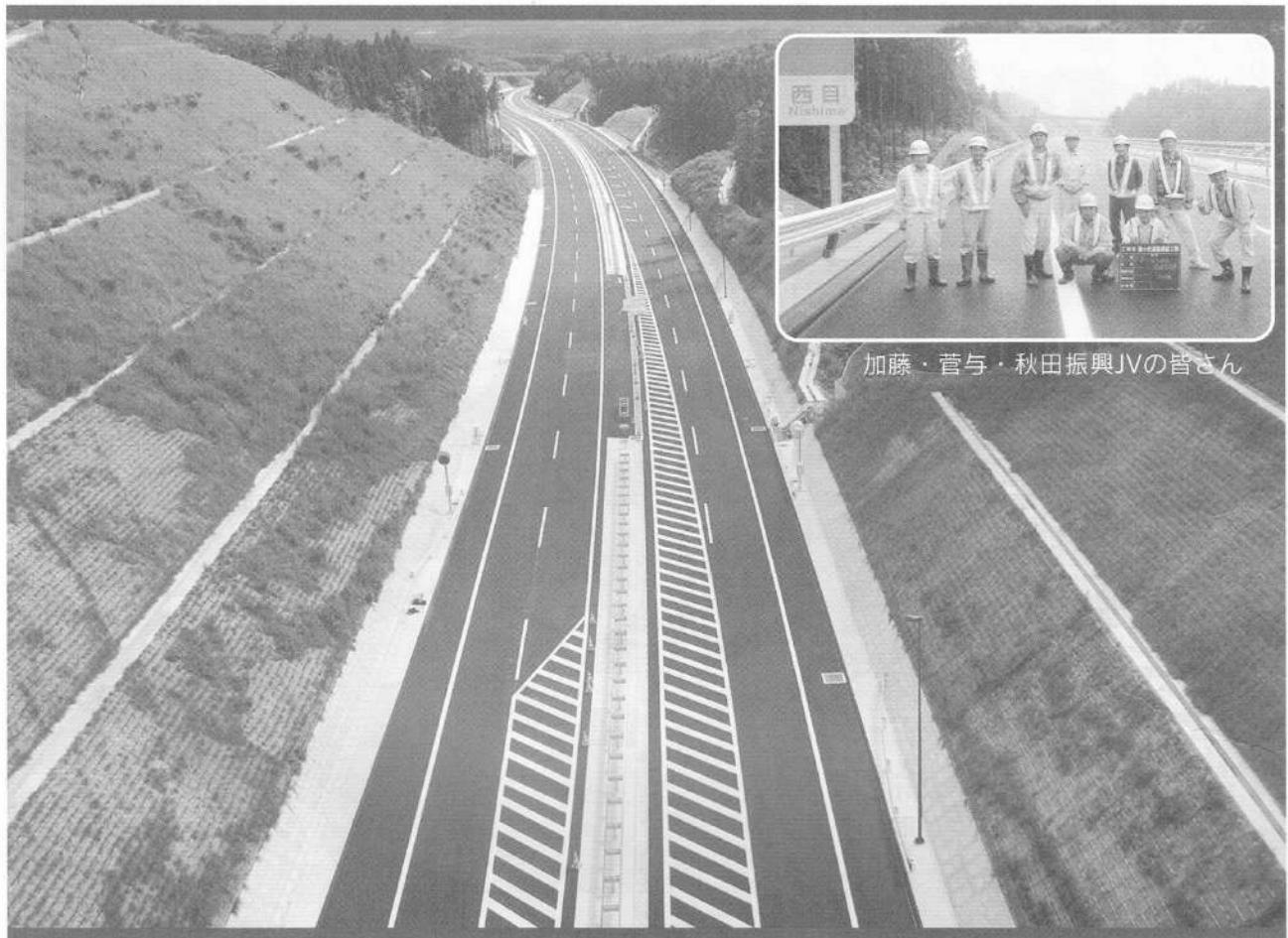
秋田県男鹿市脇本脇本字向山18-6

TEL.0185-25-3001代

FAX.0185-25-2234

◎光飯商事 株式会社 ◎日本アスコン株式会社

◎社団法人 加藤道場



加藤・菅与・秋田振興JVの皆さん

一般国道7号線釜ヶ沢道路舗装工事

暑中お見舞い
申し上げます。



加藤組安全大会報告



(株)加藤組
安全衛生委員会議長

佐藤 恭一

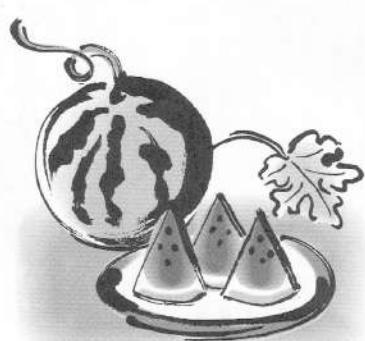
平成19年7月20日(株)加藤組安全大会が本社調和会館において午後一時より開催されました。毎年全国安全週間における取り組みの一環として協力会社、(株)加藤組そして社員が一同に会し、「安全管理体制を確立し、笑顔で明るい職場を実現しよう」「運転は余裕と思いやり、ゆとりある心で無事故を目指そう」のもと工事現場での安全、交通安全を実践するよう開催しているものであります。当日

は協力会社34社、社員31名が出席し、協力会社からは瀬上ケアコンプレックス新築工事で鉄骨加工組立の施工で伊藤鉄工(株)が、社員からは伊藤満さん、佐藤謙一さん、吉田義典さんの3名が安全優良表彰をされました。その後社長挨拶に続き、藤和会会长の米謙材木店の社長様から挨拶をいただき、また、伊藤鉄工(株)の社長様から安全発表があり、(株)加藤組安全衛

生委員会報告が行われました。



休憩の後、安全講話として男鹿警察署交通課長佐藤正美様より「ゆとりある運転を」と題して講演していただきました。講演はギター演奏を途中にはさみ交通事故の実例を交え、参加された人にとって心に残る大変貴重なものでありました。この大会を契機に安全対策にもう一度努めてまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いします。



現
場

L
P
I
T

【工事名】一ノ目潟地区ため池等整備用

排水第12302号工事

【工 期】平成19年6月8日～平成19年12月20日

土木部 土木課 成田 義 則



左より 成田所長
江畠現場員
原田主任



2号トンネル坑口

本工事は昨年度と同様に入道崎、北浦、戸賀地区の水源地である、一ノ目潟に上流より水を供給するための既設水路トンネル（明治時代施工）1号トンネル全長L=537・00m 2号トンネル全長L=348・00m の内、本年度施工分として1号L=154・8m、2号L=60・3m 合計L=215・1m、既設

トンネル断面は最小で幅約0.7m高さ約1.1mの馬蹄形に新設する工事です。

今年度の工事内容としては、掘削、矢板設置、支保工

本工事は昨年度と同様に入道崎、北浦、戸賀地区の水源地である、一ノ目潟に上流より水を供給するための既設水路トンネル（明治時代施工）1号トンネル全長L=537・00m 2号トンネル全長L=348・00m の内、本年度施工分として1号L=154・8m、2号L=60・3m 合計L=215・1m、既設

工、取り付け水路工を施工し通水、完成と成ります。

この工事には4つの大きな特色があります、1つ目は国定公園内の作業でありいろいろな制約があります。作業区域を県の自然保護課に許可申請をしての作業の為、植物の採取、伐採、地形形状の変更、外部からの種子持込等は絶対禁止と言う制約があります。（恐いおば様たちの組織、男鹿国定公園貴重植物保護対策協議会、男鹿の自然を見つめ直す会が監視します）

2つ目はトンネル現場まで行く道路が狭く、カーブが多く大型車両が入れないということ。幅3mの仮設道路の中央には幅0・3mのコルゲートパイプが布設されており、その上に敷き鉄板を全線敷設したのですが、まだ大型車両の通行には幅が足りず、資材ヤードを作り大きい機械類等はすべて積み替えし、走行できる物は自走して搬入しなければ成らざるようになります。

3つ目は当一ノ目潟でも数十年ぶりと言ふ水不足です。昨年の降雪量の少なさと、今年の降

雨量の少なさが重なり、今までに経験したこと無いほどの水不足です。一ノ目潟土地改良区・男鹿市企業局の両取水口がもう少しで水上に出てしまいます。取水できなくなると入道崎、北浦、戸賀地区住民の飲料水の確保ができず、生活できなくなります。又、男鹿水族館、男鹿温泉郷の営業にも支障をきたし国体で男鹿を訪れた人達にも多大な迷惑を掛けることになり観光地男鹿のイメージダウンにつながります。

4つ目は昨年の反省も含め1日も早く工事を完成させ通水し、来年度の貯水に備えるということです。目標にして急いでいるのは8月中旬に2号トンネルを完成させ、9月1日から野村川より2号仮設道路上を8月のお盆休み中に配管工事し、通水できるようトンネル工事を昼夜急速施工で工事に努めています。

以上の様々な多様な規制の中での作業の為、トンネル坑夫、作業員の末端まで作業手順等周知徹底させて作業をすると共に昨年の反省も含め、無事故で工事を完成させたいと思っております。

鉄道工事を「安全」に施工するため

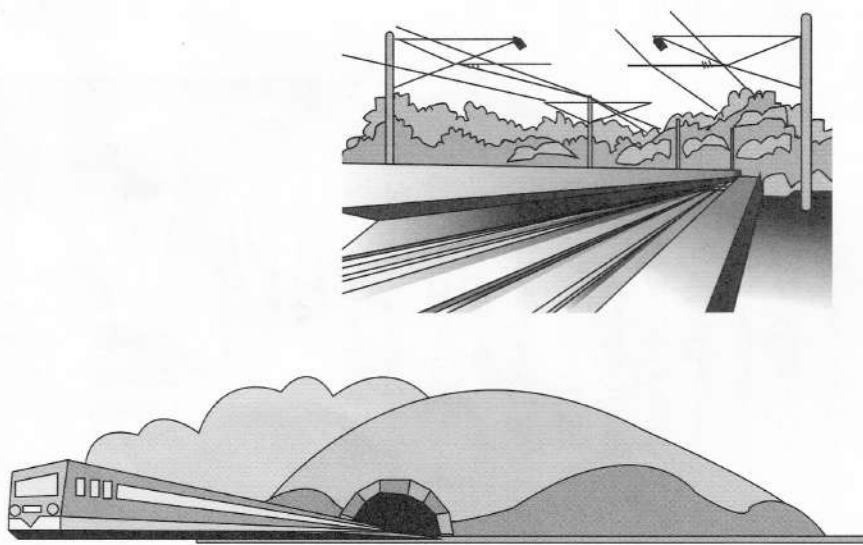


土木部 土木課
門脇 敏男

平成17年4月西日本旅客鉄道株式会社の副知山線における列車脱線事故（死者107名・負傷者549名）は記憶に新しいところです。大量高速輸送機関である鉄道交通事業はひとたび事故が発生するとその被害は甚大になり、社会的影響も計り知れないものとなるため、鉄道事業者にとって「安全」は最も徹底して確保しなければならないサービスであります。このため鉄道工事施工会社に対しても法令・規定・要領等でルールを遵守する事を義務付けて、鉄道工事施工資格（線閉責任者・工事管理者・重機運転者・列車見張員等）の講習を行い認定書を發行し、鉄道工事有資格者を有する会社・事業所のみが鉄道工事を施工することが出来ます。当社には、有資格者が14名おり鉄道工事を行つております。（男鹿地区では唯一当社のみ鉄道工事を行つております。）

また、3年に一度の資格者更新と1年に1回の安全講習が義務付けられております。当社ではこの7月に有資格者全員が参加し、講習会を実施いたしました。JR秋田支社秋田保線技術センターの佐藤工事科長より安全講話を受けました。この講話を機に再度ルールを確実に守り、作業員の安全確保、列車の安全運行確保の確認を第一に鉄道工事を施工することを参加者全員が誓い終了しております。

安全には100%はないといわれていますが、確認を怠ることなく、互いに声を掛け合い、互いに注意しあい、無事故・無災害100%を目指し頑張っていきたいと思っています。



とある完成検査の風景 (下水道編)

土木部 佐 藤 忠 成



世の中「沈黙は金也」という言葉がありますが、まさに工事完成検査にはその言葉が金言となる例をご紹介します。「長いものには巻かれる」、「泣く子と役所には勝てない」等々言い次がれてきた言葉がありますので、書類や現場でのやりとりでは自分の身を守るために「ハイ、ハイ」と返答していく、窮した時は「...」で黙秘に入る訳です。ここで一言でも気に合わない返答をしようものなら刑事ドラマの犯人役の始まりとなるのです。冷や汗をかい、エヘラ笑いを浮かべ「そうあなたは

神様です。」と心の中で念じ、ムックと芽生えてくるダークサイドの自分を妻や子供や親の顔を思い浮かべることでしつかり押さえつけることが明日への保障と検査を早く終えるコツです。

最近の検査中の定番となつた会話

検査員 「延長はなんで管理している?」

ダンナ A 「光波で」

ダンナ A 「ハイ!」

検査員 「どれ資料は」

ダンナ A 「この様に管理しています」と言って資料を渡す。

検査員 「2mmも違うねが、なにしてや」

ダンナ A 「...」(ここが非常に大切な場面です。他の人は一切サポートしてはいけません)※ちなみに役所で要求している管理・規定値には座標の「ざ」の字もございません。また、地球の直径は約12,785kmといわれています。

これから先程述べた沈黙や工へ



第29回 加藤杯争奪選抜少年野球大会 試合結果

日 時 平成19年6月9日(土)
開会式 8時00分 試合開始 8時30分
場 所 男鹿東中学校野球場
主 催 株式会社 加藤組



どうですか、こんな大変な思いをして命を縮め、プライドをかなぐり捨て完成検査に臨んでいるご主人や息子さんをもつとねぎらいを持って日々接して頂ければなど思ひこの場をお借りしてお願いを申し上げる次第です。

(一部ファイクションですのでそれをわきまえてお読み下さい。)

第29回 加藤杯争奪選抜少年野球大会

土木部 渡 部 邦 明

今年の全県少年野球は、稻川中が悲願の初優勝を達成しました。過去には、加藤杯争奪選抜少年野球大会

参加チームが全県優勝したことあります。さらには、プロ野球選手も輩出しています。今年加藤杯を制した井川中も全県大会に出場していれば、準優勝した同地区代表の羽城中

同じ上位に食い込むことが出来るだけの実力校でした。真剣に戦っている中学生の姿は、見ていてものに感動を与えてくれます。この大会が続く限り温かく見守つて生きたいと思います。





シリーズ 加藤組ものがたり② 「第27海光丸のあゆみ」

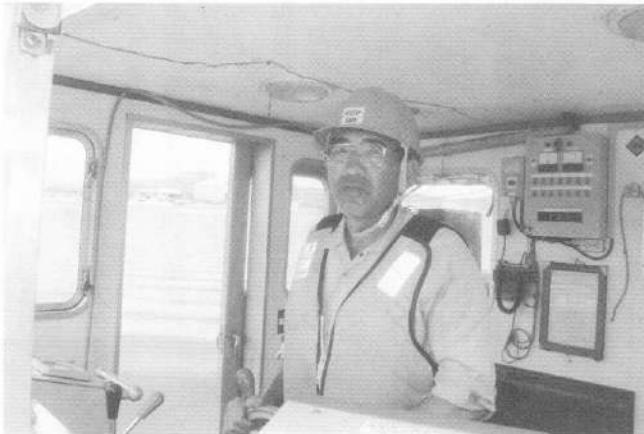
第27海光丸船長 菅原 直人

(株)加藤組に入社して早や15年になりました。今思いますといろいろありました。今まで続けて来られたのも友人達に励まされ、時には怒られながら仕事をしてきましたお陰で、第27海光丸を操縦してから8年になります。私が3代目であると教えられましたが、実際作業に当つてみて港湾作業がこんなにつらいとは思いませんでしたし、作業そのものがいつも危険と戦っているという感じを受けています。

思い出といわれても正直あまりありません。毎日が不安の連続です。台船を曳航して港に係船するまで急に波が出てきた時、綱は丈夫か自船には異常がないか、他船が来ないか、漁網がないかなど気を休める暇はありません。中でも一番不安なのは気象の変化で

(株)加藤組に入社して早や15年になりました。今思いますといろいろありました。今まで続けて来られたのも友人達に励まされ、時には怒られながら仕事をしてきましたお陰で、第27海光丸を操縦してから8年になります。私が3代目であると教えられましたが、実際作業に当つてみて港湾作業がこんなにつらいとは思いませんでしたし、作業そのものがいつも危険と戦っているという感じを受けています。

す。これだけは一人で判断することはできないので起重機船の艇長や乗組員と相談して決定します。船や仲間を守るためにには特に気象に関しては常に気を配ることが一番だと考えています。でも、海上が穏やかで晴天のときは台船を曳航している時は港湾関係の仕事や船の仕事は最高だなと思います。これからも会社のため少しでも役立つようにまた、無災害で頑張つて行きたいと思っています。



編集後記

また余裕が余裕を呼んでピンチになってしまった。常に新しい事をとは思っていますがなかなかそれに向かう自分が見えない。寄稿依頼の遅さが皆さんへの迷惑の始まりで「写真だ」とか「作文だ」とかが大体発行日の二週間前の景色になってきたなと自分なりに納得を見せるようになつてきました。これは自己満足であつて印刷屋さんのことは前頭葉に配置はしていません。ですから自己満足が身勝手に変わりつつあるこの状態をどう修正しようかとも思う時間もなく、今回も「こんな出来ました」調で仕上げてみましたがどうだったでしょうか? 続続は力なりを盲目的に信じ、次も勢いでいきます。皆様におかれましては筆者の如く熱射病状態にならないよう十分にこの夏季休暇で静養したり、旅行を楽しんだりして本年度の後半に向けて英気を養つください。それでは次号で!

佐藤
忠成

クイズ

いよいよ「秋田わか杉国体」の本大会の開催まで、あと50日となりました。時代をさかのぼると、昭和36年の「秋田〇〇〇〇国体」以来です。〇〇〇〇は何でしょうか?

- ① はづらつ
- ② いきいき
- ③ まごころ

50 010-0342
株式会社 加藤組 クイズ係行

クイズの答え
住所
氏名
年齢
性別
TEL

締切/平成19年8月27日

※正解者の中から抽選により3名様に豪華記念品を進呈。1家族1枚に限ります。参加賞もあります。